



第七中学校

校長 柏木 圭子

学校が始まりました

とても暑かった夏休みが終わり、学校が再開しました。この夏休みには、各学年のサマースクール、自習教室、中1勉強合宿や水泳教室が行われました。サマースクールや勉強合宿では、先生方や大学生の学習ボランティアの方が個別にわからない箇所を教え、問題を一緒に解く中で、「わかった!」という生徒の声を何度も耳にすることができました。特に中1勉強合宿には関原小学校、栗原小学校の先生方も駆けつけてくださり、小学校で学習した分数や少数の計算の仕方など、丁寧に教えてくださいました。また各部活動ではシード権大会があり、2年生を中心とした新しいチームが出場しました。

このような学校での活動だけでなく、生徒一人ひとりがやりたかったことに挑戦したり、ゆっくりしたりして、楽しい夏休みにできていたらうれしいです。

さて9月にはいると期末考査、1年生の魚沼自然教室、5組の区陸上大会、連合陸上大会があり、10月11日が前期終業式になります。それと並行して10月末の文化祭舞台の部に向けての練習が始まります。行事をとおして自らを鍛えるとともに、友達との絆を深めていきましょう。

足立区学力定着に関する総合調査結果について

4月12日に実施した足立区学力定着に関する総合調査の結果がまとまりました。この調査は、足立区内の小学校2年生から中学校3年生までの児童・生徒を対象に毎年、行っているものです。調査内容は、小学生は国語と算数、中学生は国語・数学・英語の教科の学力定着に関する調査と学習意識調査から構成されています。

【教科に関する調査について】

	学校全体			1年			2年			3年		
	国語	数学	英語									
目標値(R6)				53.1	55.6	80.8	60.2	41.8	51.5	68.2	40.1	52.6
通過率(R6)	78.0	73.7	75.4	81.3	82.9	86.7	86.0	82.5	67.5	66.4	54.4	70.4
目標値(R5)				67.1	56.4	65.5	66.0	41.2	57.1	71.6	40.5	55.6
通過率(R5)	73.5	70.1	67.5	79.3	86.8	78.5	83.8	65.0	59.8	57.3	57.8	63.8
平均正答率(R6)	71.8	61.3	70.9	67.3	76.0	91.4	75.5	62.0	62.9	73.2	42.7	64.4
平均正答率(R5)	76.8	56.5	66.5	79.0	74.2	74.5	77.9	47.8	62.5	73.4	45.0	65.3

◎目標値:本調査において、前年度の基礎的な内容が定着していれば正答できると期待される値
◎通過率:目標値以上の正答があった児童・生徒の割合 [目標値以上の児童・生徒数÷受検者数×100(%)]
◎平均正答率:本調査を受検した児童・生徒の正答率(出題数中何問正解したかの割合[正答数÷出題数×100(%)]の平均値

○すべての教科、学年で足立区、全国の平均正答率、通過率を上回りました。これは3教科の授業だけでなく、すべての学級、学年で落ち着いた生活が行われ、生徒たちが安心して学習に取り組んでいる結果と考えています。

○国語は1、2年生では、通過率が8割を超え、3年生では6割を超えました。平均正答

率では、本校が区の数値を1年生で3.5ポイント、2年生で4.9ポイント、3年生で2.0ポイント上回っています。

3年生は、漢字を書くこと、聞くことに課題があり、授業や家庭学習で取り組んでいく必要があります。

- 数学は1、2年生では通過率が8割を超え、3年生では5割を超えています。平均正答率と学校全体で通過率が7割を超えました。平均正答率では本校が区平均を1年生は6.1ポイント、2年生は9.8ポイント、3年生は0.1ポイント上回っています。関数分野で苦手がみられるので、授業時には既習事項を確認しながら学習を進める必要があります。
- 英語では、通過率については1年生では8割、2年生では6割、3年生では7割を超えました。区平均との比較では、1年生は3.7ポイント、2年生は7.8ポイント、3年生は5.1ポイント上回っています。2、3年生では、英文からの読み取り、英文記述に課題があり、英文の読み取り、記述ともに習熟度にあった課題を設定し、授業を行う必要があります。

【学習意識調査について】

肯定的な回答が多かったのは次の内容です。

- 「学校に行くのが楽しい」「昨年度、学級みんなはお互いに協力し助け合っていた」「昨年度、学級では自分が困っていたら周りが助けてくれた」「学級の人に支えられていると思う」など、居心地のよい学級づくりに関すること。
- 「友達や家の人の意見を聞くとき、その人の考えや気持ちを受け止めようとしている」など、思いやりや良い人間関係づくりに関すること。
- 「あいさつ、服装、持ち物などについて学校のきまりを守っている」など規範意識に関すること。
- 「勉強は大切だ」「よい成績がとれるよう勉強したい」「受験に役立つよう勉強したい」「ふだんの生活や、将来、社会に出てから役立つよう勉強したい」「学校の先生が出した宿題をきちんとやり遂げている」など学習に関すること。

反対に肯定的な回答がやや少なかったのは次の内容です。

- 「授業の時間にいろいろな考え方を発表しあうことは好きだ」のように、意見や考えを伝えたり、出し合ったりすることに関すること。
- 「問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている」のように、一定の理解ができたことから、さらに理解をより深めたり広げたりすることに関すること。
- 「学級の人から頼られていると思う」のように自信をもつことにつながる。

この結果をとおして、七中生の穏やかさや優しさ、礼儀正しさなど、日頃から生徒と接する中で感じていることが数値として表れていると改めて感じました。学校という自分が所属している集団をよりよくしていこうとする気持ちを持ち続けてもらいたいと思います。

また発表や意見を出し合うこと、問題が解けてもさらに理解を深めようとする姿勢は、これから生きていく中で大切になっていくことだと考えていますので、授業や行事、学級活動をとおして、引き続き育成していきます。